

令和6年第2回（6月）定例会

文教生活常任委員会報告

報告者：文教生活常任委員会委員 大島 千都世

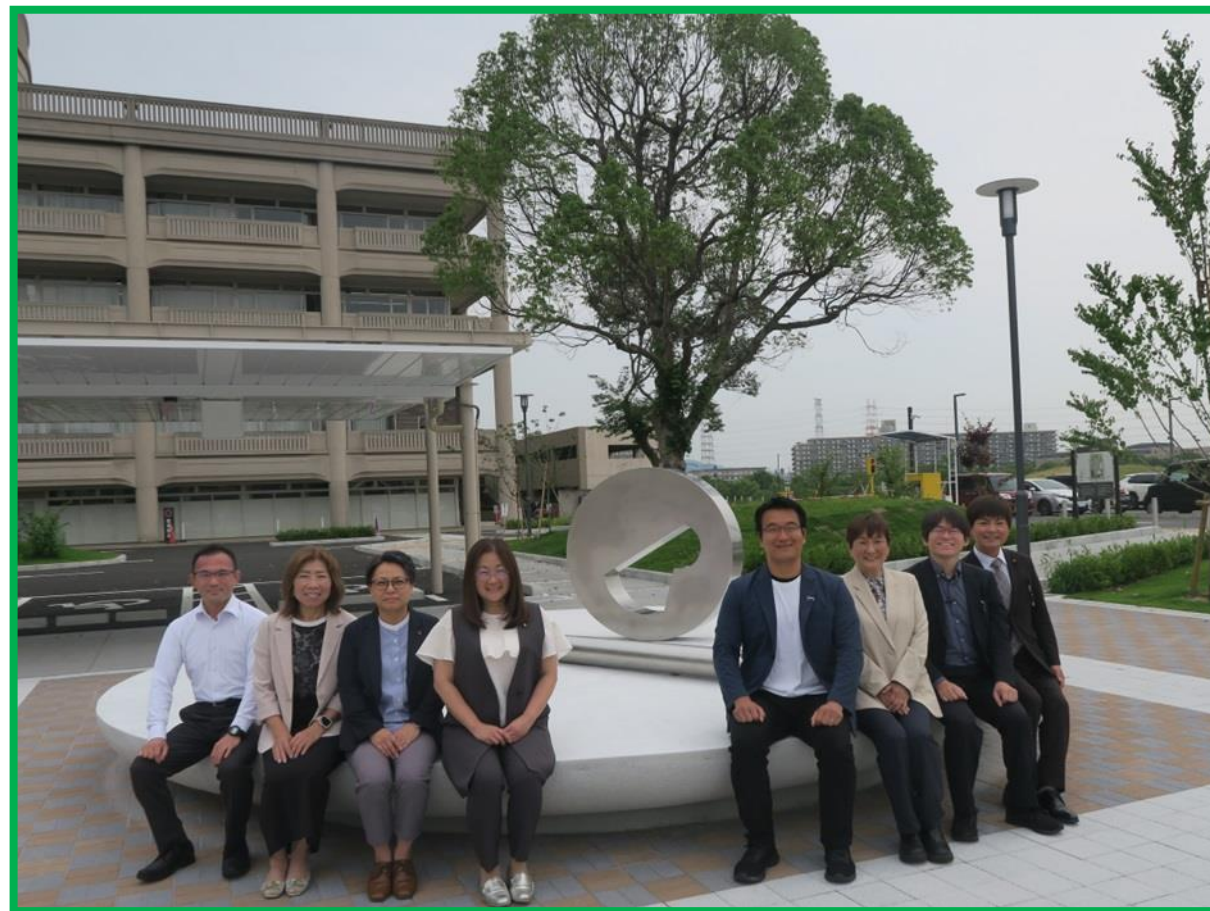
審査の状況

①5月23日

②5月28日

③6月20日

委員長	川口	じゅん
副委員長	桑原	健三郎
委員	北野	聡子
	伊庭	聡
	坂本	篤史
	中山	ゆうすけ
	みとみ	智恵子
	大島	千都世



『 付託された議案3件 』

議案番号	議 案 の 名 称
議案第55号	宝塚市福祉医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議案第59号	兵庫県後期高齢者医療広域連合規約の変更に関する協議について
請願第 6 号	豊かな教育を実現するための義務教育費国庫負担制度の堅持と未配置問題の解消を求める請願

議案第55号

宝塚市福祉医療費の助成に関する条例の一部を 改正する条例の制定について

議案の概要

租税特別処置法の改正に伴い、県が定める福祉医療費助成事業実施要綱が改正されたことに合わせて、本市の条例においても同様の整備を行うため条例の一部を改正しようとするもの。

☆審査結果 可決(全員一致)

議案第59号

兵庫県後期高齢者医療広域連合規約の変更に 関する協議について

議案の概要

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の一部を改正する法律の附則に掲げる規定の執行日が定められたことにより、本年12月2日から、現行の後期高齢者医療制度の被保険者証が廃止されることに伴い、兵庫県後期高齢者医療広域連合規約の一部を変更する。

< 質疑 >

問1

本市におけるマイナ保険証のトラブルの報告がないのは利用率の低さが原因ではないか。

答1

利用率が低迷している要因としては、マイナンバーカードと保険証の紐づけミスや医療機関等でのカードリーダーのトラブル発生などにより、被保険者がマイナ保険証の運用に不安を持っているためと認識している。引き続き県広域連合と連携し、マイナ保険証の利用率向上に向けて進めていきたい。

<質疑>

問2

現行の保険証がなくなって困る方はいないか。

答2

マイナ保険証の利用が困難な高齢者や障害者などの要配慮者には、資格確認書の交付が可能である。また、暗証番号の管理が難しい方については、暗証番号の設定が不要な顔認証マイナンバーカードの運用も示されている。現行の保険証がなくなることで、必要な医療機関への受診に支障が出ないように引き続き取り組む。

☆審査結果 可決(賛成多数 賛成5人・反対1人))

請願第6号

豊かな教育を実現するための義務教育費国庫負担 制度の堅持と未配置問題の解消を求める請願

請願の趣旨

子供たちのゆたかな学びと育ちを保障するため、教職員の未配置問題の解決で学校の働きかた改革を実現することが不可欠である。厳しい財政状況の中、自治体間の教育格差がないよう、全国のどこに住んでいても一定水準の教育を受けれる学びを保障するための条件整備が必要である。

< 請願の項目 >

1. 教育の機会均等と教育水準の維持向上をはかるため義務教育費国庫負担制度を堅持してください。
2. 教職員未配置問題の解消に向け、人材確保につとめてください。

< 質疑 >

問

現在の教職員が未配置の学校や人数の把握、人材を確保するための働き方改革を市はどのように取り組んでいるのか

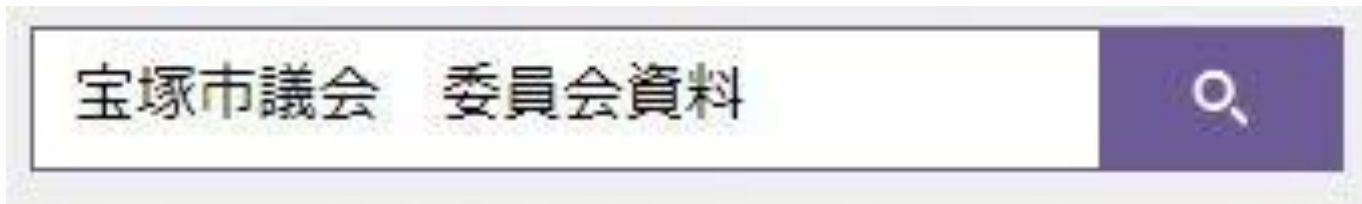
答

教員と共に働き方改革検討委員会を立ち上げたり、具体的な業務改善点についても実施可能なものから順次対応している。また、ICT化の部分であったり、GIGAスクール構想があったり、部活動地域移行があったりと前向きに動いている。

☆ 審査結果 一部採択(全員一致 ※項目1について採択)

ご清聴ありがとうございました。

▶ 詳細資料は



宝塚市議会 委員会資料



で検索